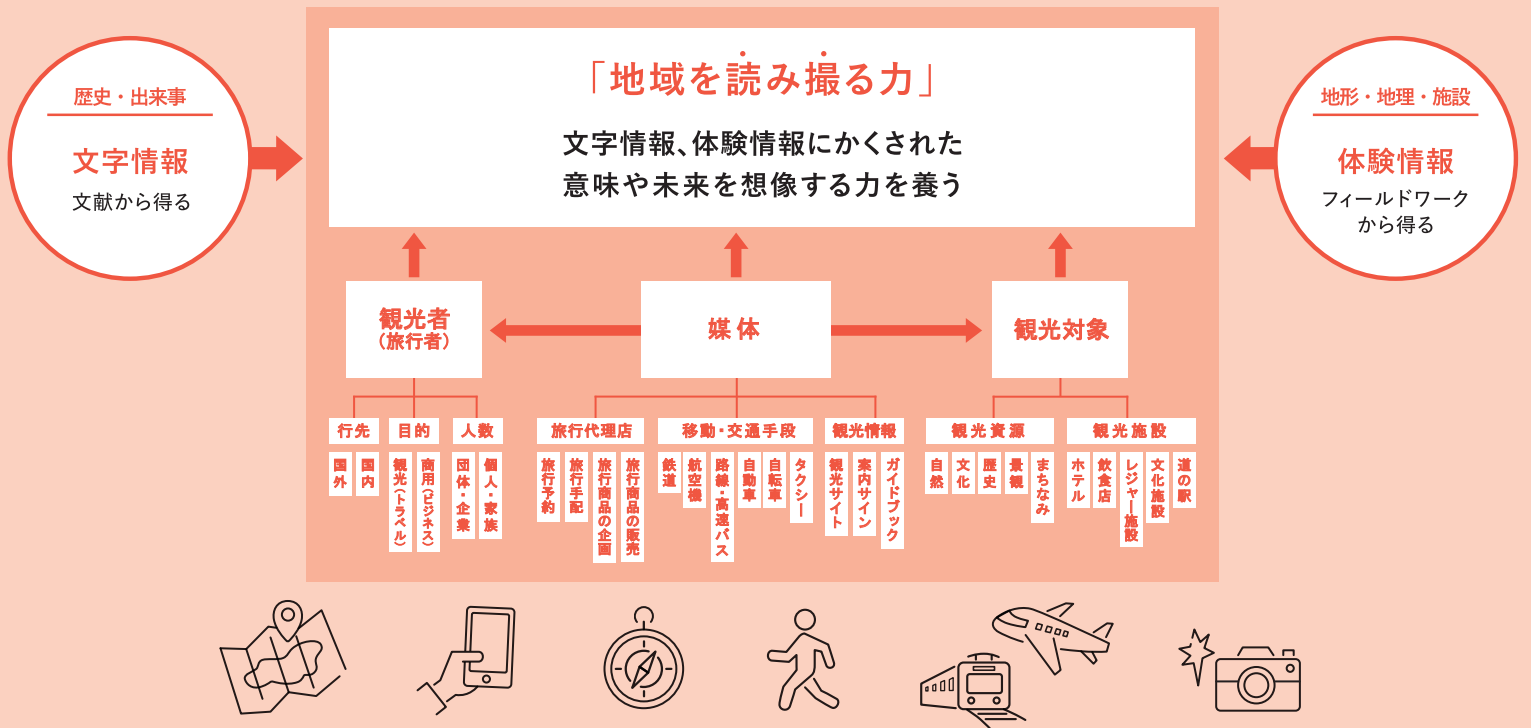


# 観光の新たな視点とは 「地域を読み撮る」こと。

観光をする「人」「場所」「手段」に着目して、テキストから学べる「文字情報」と、都市や地域を実際に歩いて得られる「体験情報」を組み合わせ、「観光する」という行動の意義を理解していきます。観光が有する特性を活かした講義は教室内の対面授業に加え、フィールドワークや講師自らが観光地に出向き、遠隔・リモート方式で配信するスタイルを取り入れるなど、この時代に寄りそった質の高い講義を行っていきます。



## 横浜商科大学はマイクロツーリズムに注目！

マイクロツーリズムは、コロナ禍で改めて注目された旅行形態の一つ。一般的には「自宅から移動時間が約60~90分の範囲で、地元のまだ知らなかった魅力を発見すること」を目的としています。

本学では、「商学の観点から捉えた「観光・サービス（ビジネス）」の市場価値創造における新たな視点づくりの手法」としてマイクロツーリズムを位置付けています。

### ■「商大マイクロツーリズム」提案活動に取り組む。

横浜商科大学オリジナルプロジェクトとして進行しているものが「商大マイクロツーリズム」。本学を起点や終点、中継点とし、徒歩約60~90分で回れるように設定したツアーコースのことです。

本学が位置する神奈川県横浜市鶴見区周辺のまち歩きコースから始まり、コロナ禍の2021年度に移動促進（外出促進）の一環として本プロジェクトの構想がスタート。2022年度よりゼミナールなどの講義を通して、本格的な提案活動を行い、現在では13コースを設定しています。



### ■マイクロツーリズムを学ぶ理由。

マイクロツーリズムは「考えることの重要性」を体験し、「学問することの楽しさ」を知ることが可能になります。具体的には、次の3つの要素を学ぶことを目指しています。

- (1) 何気ない風景や日常からも地域の魅力を見つける
- (2) 人とのつながり・絆を大切に
- (3) 体験・思考・整理から得た知（アイデア）を『地域』に還元する

### ■観光価値を創り出す「地域を読み撮る」カへ。

「商大マイクロツーリズム」の提案では、以下の5つのステップをたどりアカデミックスキルを身につけ、「地域を読み撮る」カへつなげます。

- (1) フィールドワークによる体験から情報を獲得する力
- (2) 獲得した情報を編集する力
- (3) 編集した情報から課題を設定する力
- (4) 設定した課題を分析し、レポート（レジュメ）にまとめる力
- (5) まとめたものをプレゼンテーションする力

「地域を読み撮る」ことができると、訪問者が感じる「新鮮さ」、地元の人が感じる「当たり前」が何かを明らかにすることができます。そして、一見すると何でもない地域の日常に、観光価値を引き出す視点を加えることで、新たな旅の醍醐味を創出することができるようになります。

# 横浜商科大学

商学部 商学科 | 観光マネジメント学科 | 経営情報学科 [スポーツマネジメントコース・情報マネジメントコース]

〒230-8577 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1 TEL.045-583-9043 (アドミッション・広報部 直通) 平日8:45~17:00

マイクロツーリズムで  
「地域を読み撮る」様子はこちら▶

